2026年10月13日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,794万kW
14時、107,945 MW（10エリア同時刻合計）

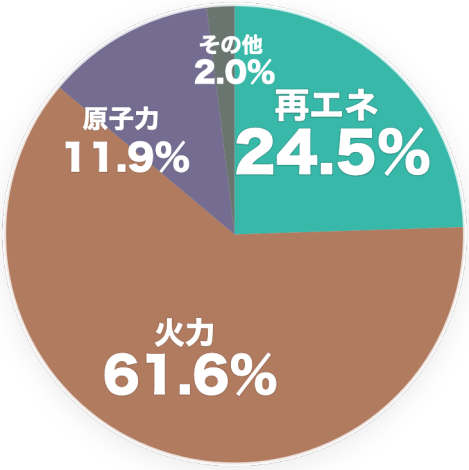
☀ 太陽光ピーク
4,395万kW
11時、43,953 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
166万kW
23時30分、1,656 MW

◇ 再エネ最大需要比
50.2%
10時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
59.6 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
47.1 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 38.5%

29.8 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

43.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:00に3,315万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで38.5%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**24.5%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**539 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,202 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**50.2%**	10時30分
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**43.7 GWh**	発電構成比には含めない

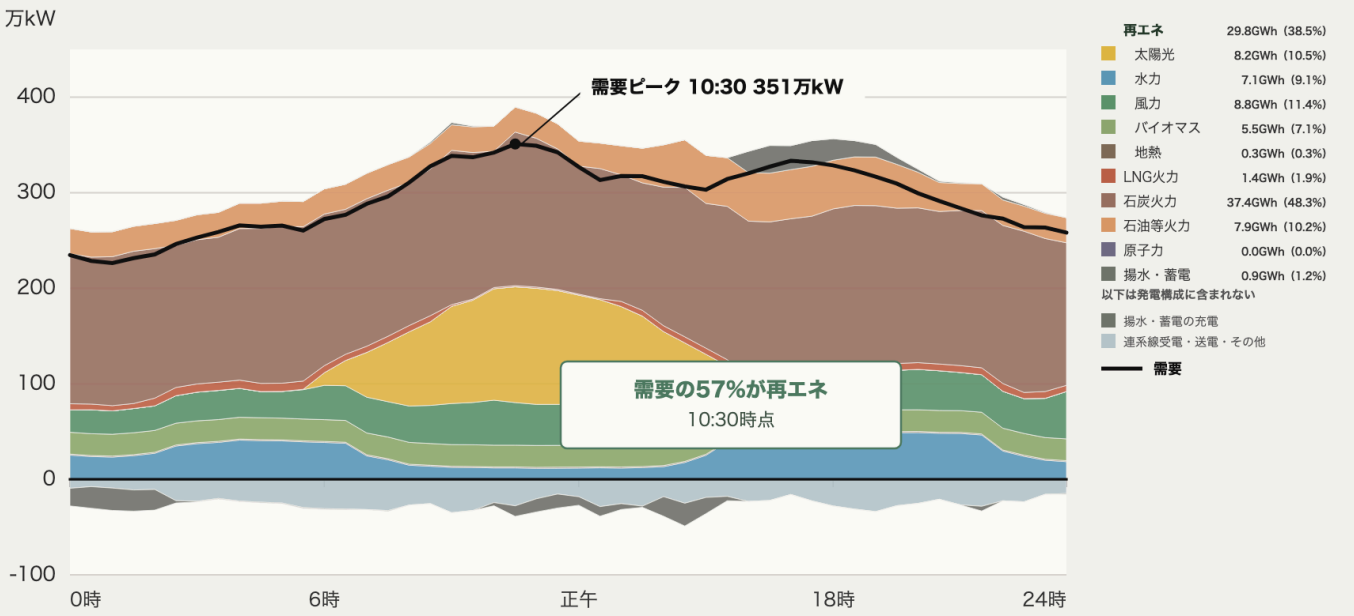
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**38.5%**	**29.8**	**0.0**	**送電 5.6**
東北	**34.3%**	**83.4**	**0.0**	**送電 47.1**
東京	**17.1%**	**108**	**0.0**	**受電 59.6**
中部	**32.0%**	**95.9**	**0.0**	**受電 56.2**
北陸	**28.3%**	**21.0**	**0.0**	**送電 7.2**
関西	**20.7%**	**69.4**	**0.0**	**受電 23.1**
中国	**21.7%**	**40.3**	**0.0**	**送電 30.3**
四国	**29.1%**	**26.8**	**0.0**	**送電 28.2**
九州	**26.2%**	**62.5**	**0.0**	**送電 2.0**
沖縄	**10.3%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年10月13日の供給実績

北海道エリア

再エネ
29.8GWh
（発電電力量ベース38.5%）

北海道エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.4GWh

需要ピーク
10:30、351万kW

連系線・その他
5.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

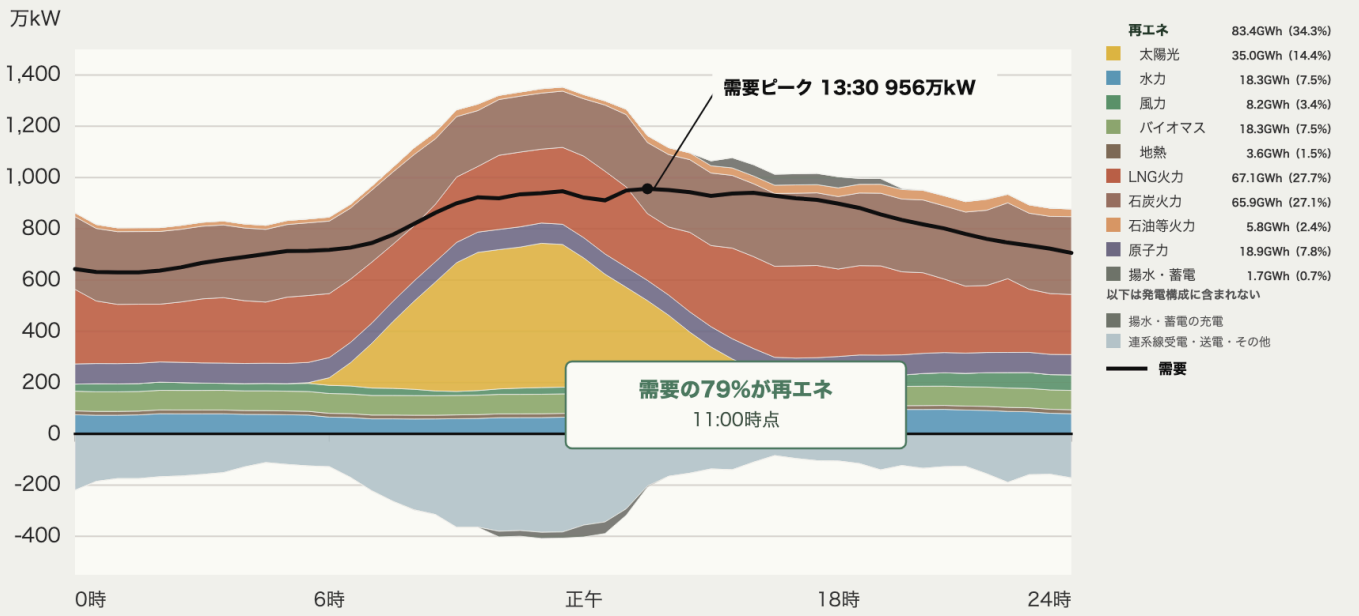
北海道は、太陽光ピーク122万kW、風力ピーク50万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.1%だった。

2026年10月13日の供給実績

東北エリア

再エネ
83.4GWh
（発電電力量ベース34.3%）

東北エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
242.8GWh

需要ピーク
13:30、956万kW

連系線・その他
47.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

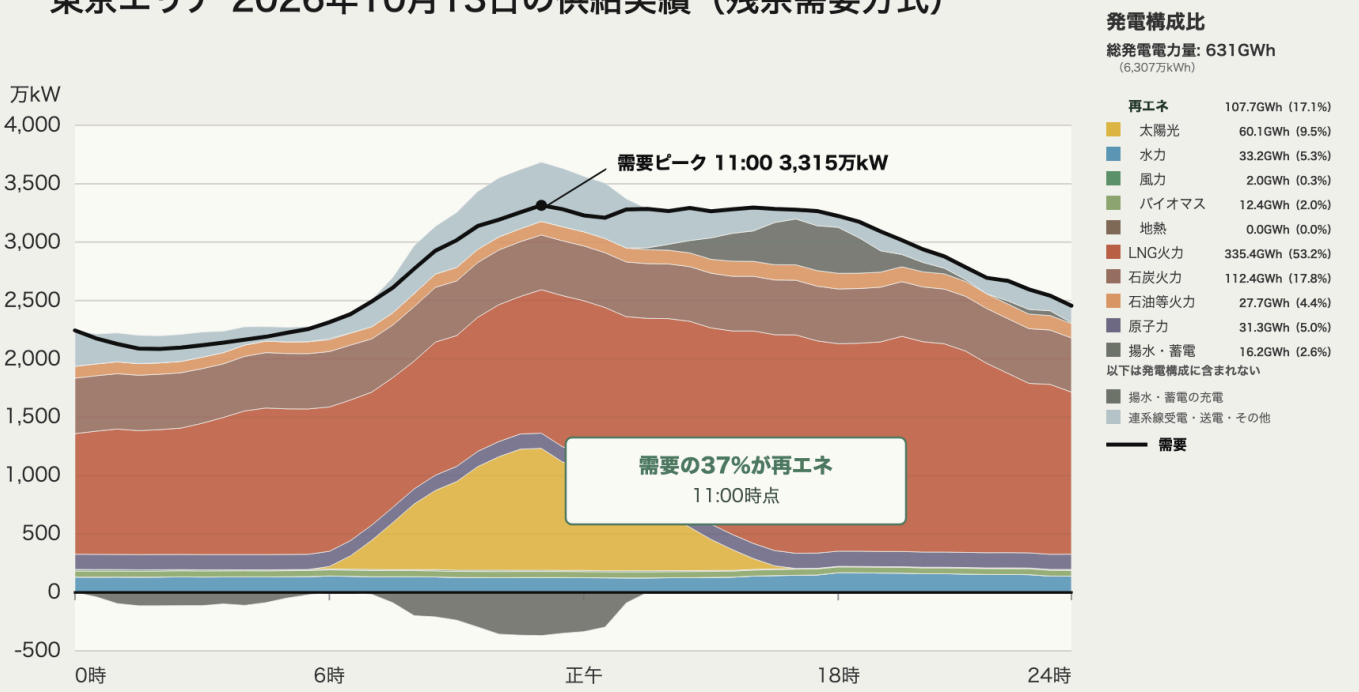
東北は、太陽光ピーク563万kW、風力ピーク62万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.2%だった。

2026年10月13日の供給実績

東京エリア

再エネ
107.7GWh
（発電電力量ベース17.1%）

東京エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
630.7GWh

需要ピーク
11:00、3,315万kW

連系線・その他
59.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
20.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

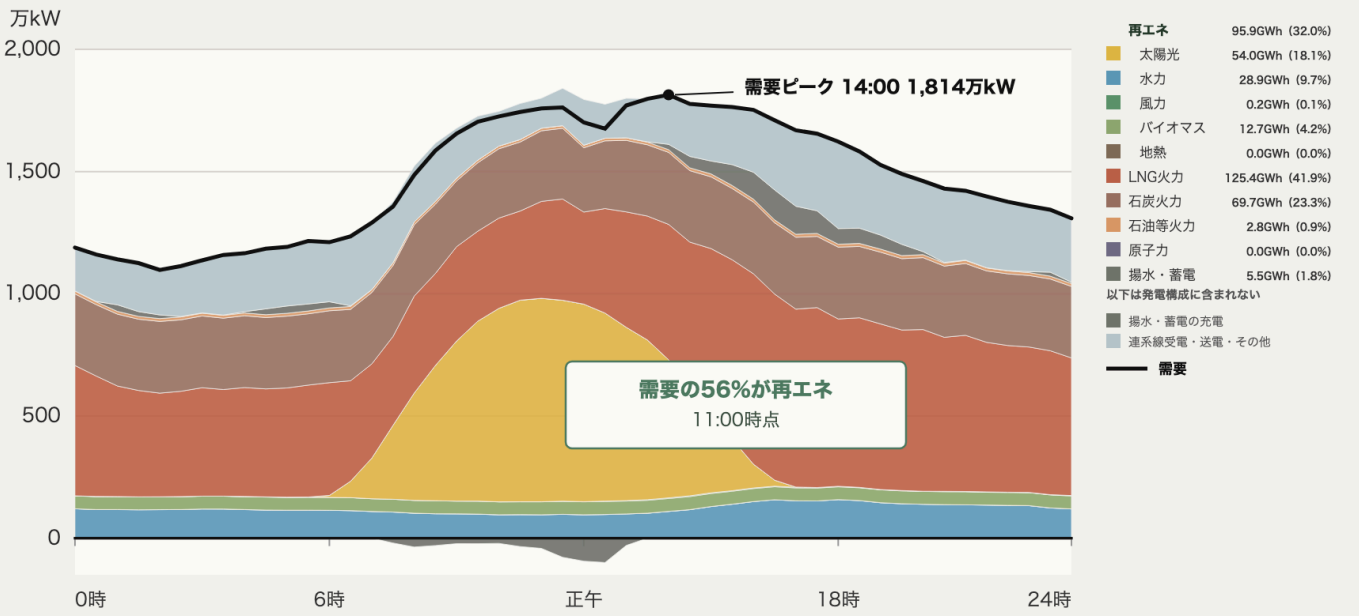
東京は、太陽光ピーク1,044万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.7%だった。

2026年10月13日の供給実績

中部エリア

再エネ
95.9GWh
（発電電力量ベース32.0%）

中部エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
299.3GWh

需要ピーク
14:00、1,814万kW

連系線・その他
56.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

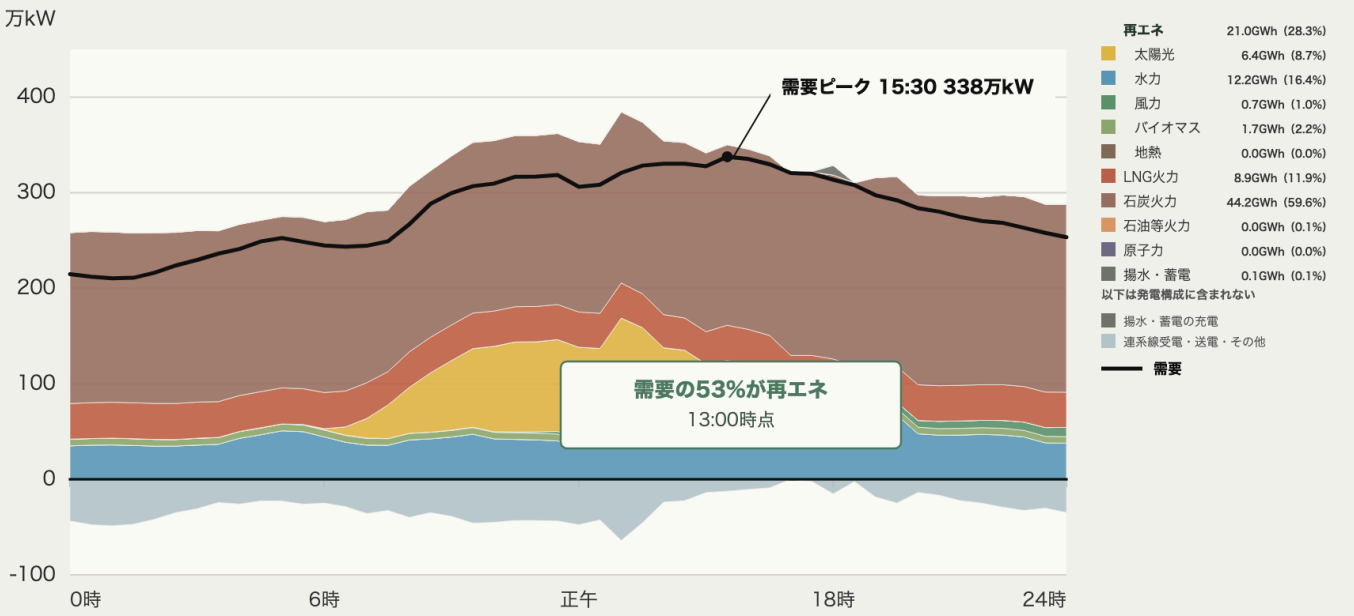
中部は、太陽光ピーク832万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.3%だった。

2026年10月13日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.0GWh
（発電電力量ベース28.3%）

北陸エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
74.2GWh

需要ピーク
15:30、338万kW

連系線・その他
7.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

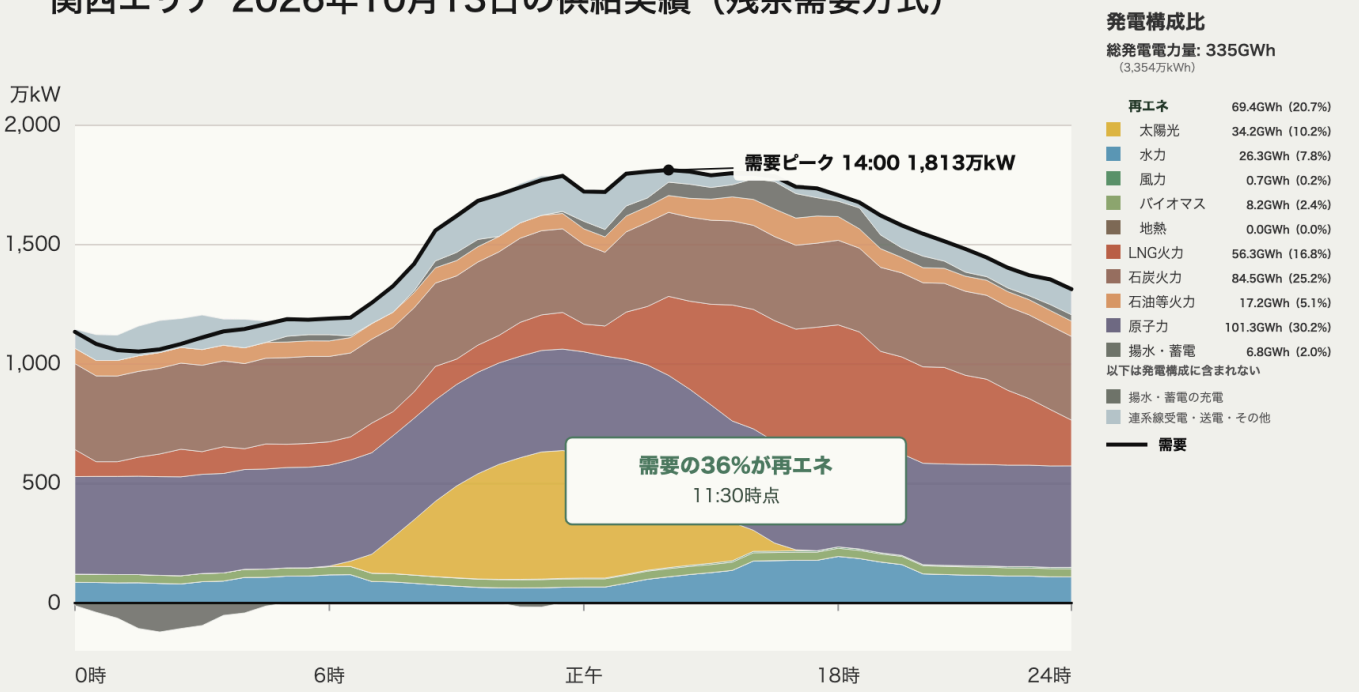
北陸は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.6%だった。

2026年10月13日の供給実績

関西エリア

再エネ
69.4GWh
（発電電力量ベース20.7%）

関西エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
335.4GWh

需要ピーク
14:00、1,813万kW

連系線・その他
23.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

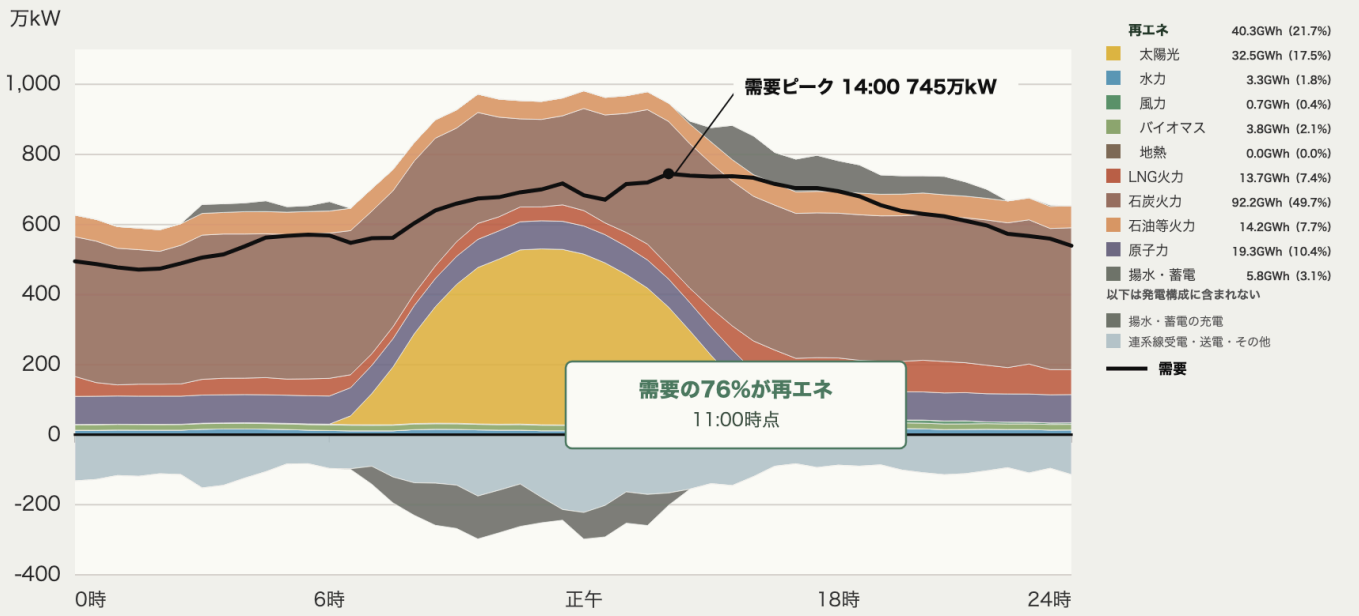
関西は、太陽光ピーク535万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.4%だった。

2026年10月13日の供給実績

中国エリア

再エネ
40.3GWh
（発電電力量ベース21.7%）

中国エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
185.6GWh

需要ピーク
14:00、745万kW

連系線・その他
30.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

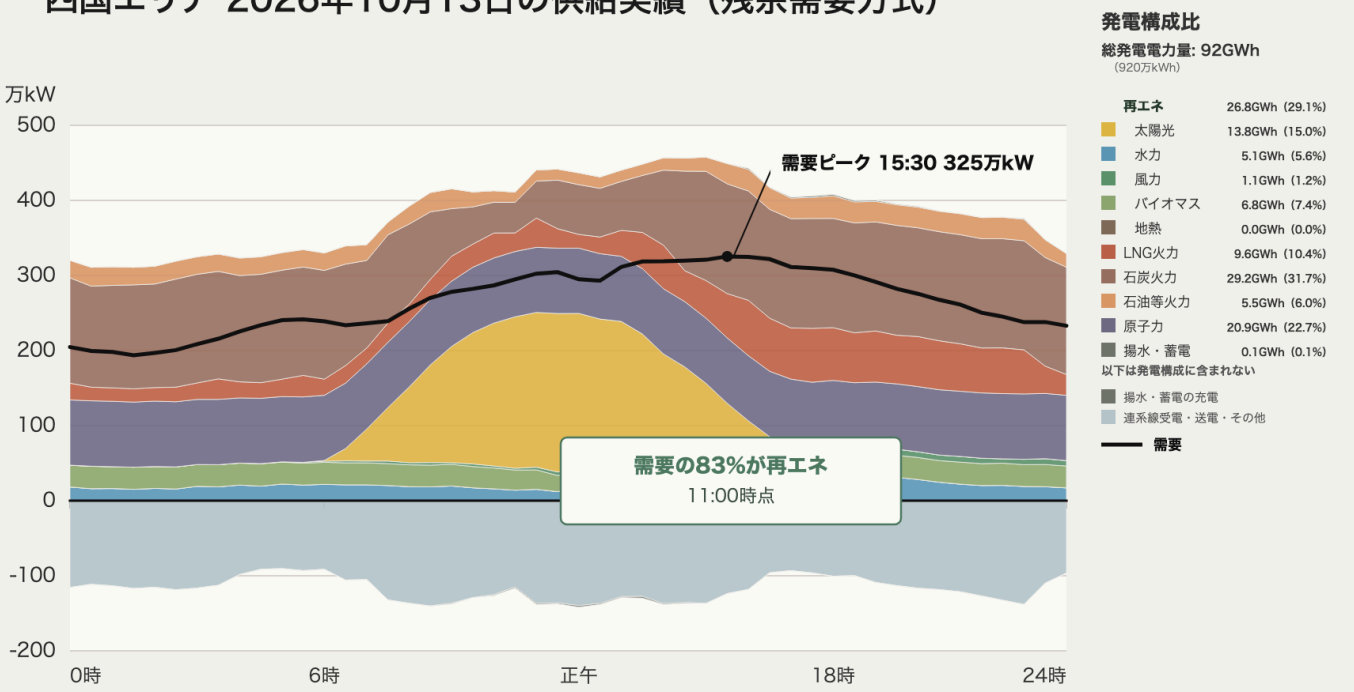
中国は、太陽光ピーク502万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.2%だった。

2026年10月13日の供給実績

四国エリア

再エネ
26.8GWh
（発電電力量ベース29.1%）

四国エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
92.0GWh

需要ピーク
15:30、325万kW

連系線・その他
28.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

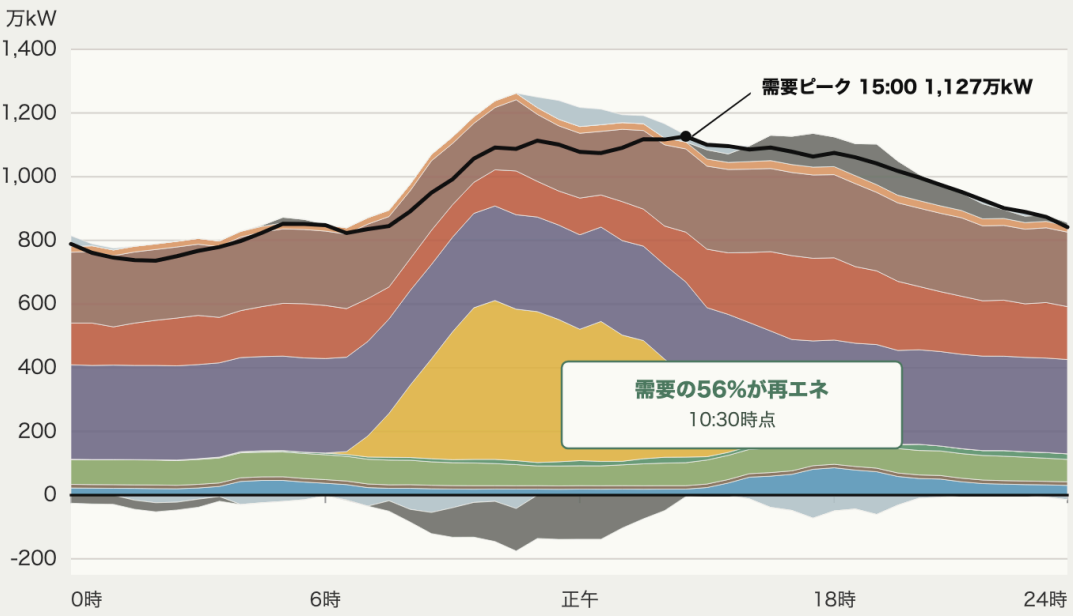
四国は、太陽光ピーク211万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.6%だった。

2026年10月13日の供給実績

九州エリア

再エネ
62.5GWh
（発電電力量ベース26.2%）

九州エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 239GWh
（2,386万kWh）

再エネ	62.5GWh (26.2%)
太陽光	31.1GWh (13.0%)
水力	8.4GWh (3.5%)
風力	2.4GWh (1.0%)
バイオマス	17.9GWh (7.5%)
地熱	2.6GWh (1.1%)
LNG火力	38.3GWh (16.0%)
石炭火力	55.9GWh (23.4%)
石油等火力	5.0GWh (2.1%)
原子力	71.1GWh (29.8%)
揚水・蓄電	5.9GWh (2.5%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
238.6GWh

需要ピーク
15:00、1,127万kW

連系線・その他
4.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
7.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

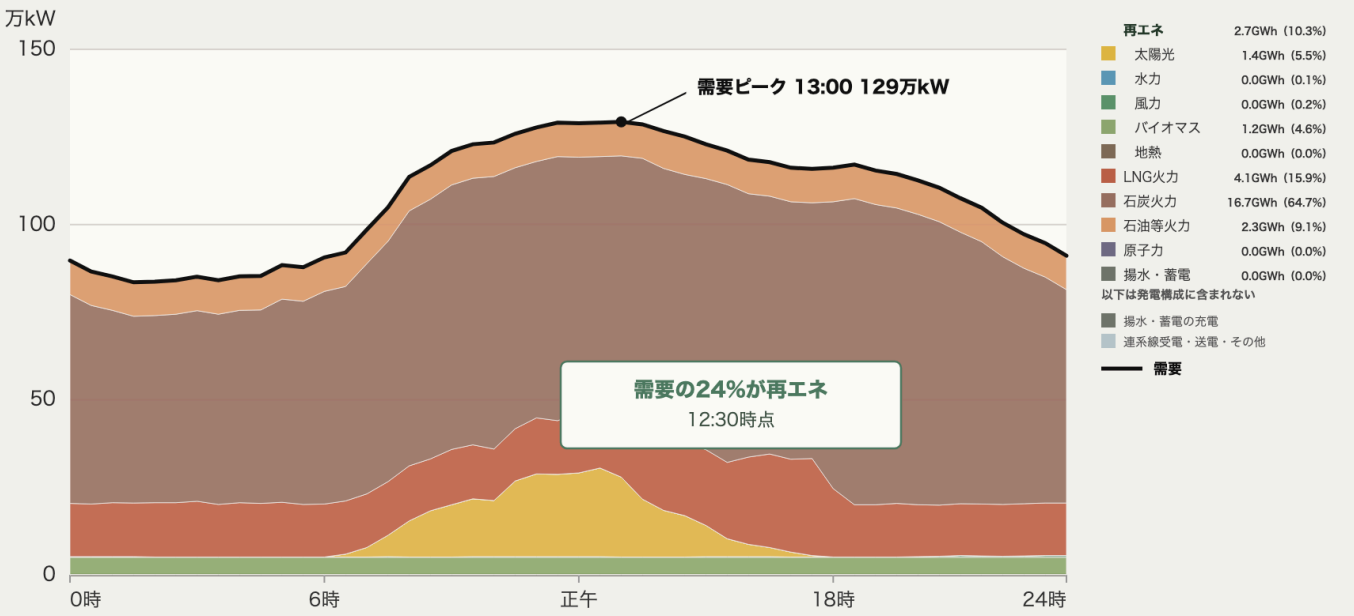
九州は、太陽光ピーク499万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.0%だった。

2026年10月13日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.7GWh
（発電電力量ベース10.3%）

沖縄エリア 2026年10月13日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
25.8GWh

需要ピーク
13:00、129万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.6%だった。